

平成21年第1回
笠間市議会定例会会議録 第2号

平成21年3月5日 午前10時00分開議

出席議員

議長	28	番	市	村	博	之	君
副議長	17	番	町	田	征	久	君
	1	番	小	磯	節	子	君
	2	番	石	田	安	夫	君
	3	番	蛭	澤	幸	一	君
	5	番	藤	枝		浩	君
	6	番	鈴	木	裕	士	君
	7	番	鈴	木	貞	夫	君
	10	番	石	松	俊	雄	君
	11	番	畑	岡		進	君
	12	番	海老	澤		勝	君
	13	番	萩	原	瑞	子	君
	14	番	中	澤		猛	君
	15	番	上	野		登	君
	16	番	横	倉	き	ん	君
	18	番	大	関	久	義	君
	19	番	野	原	義	昭	君
	20	番	杉	山	一	秀	君
	21	番	柴	沼		広	君
	22	番	小園	江	一	三	君
	23	番	須	藤	勝	雄	君
	24	番	石	崎	勝	三	君
	25	番	竹	江		浩	君
	26	番	常	井	好	美	君
	27	番	海老	澤	勝	男	君

欠席議員

	4	番	野	口		圓	君
	8	番	西	山		猛	君
	9	番	村	上	典	男	君

出席説明者

市長	山口伸樹君
副市長	渡邊千明君
教育長	飯島勇君
市長公室長	塩田満夫君
総務部長	深澤悌二君
市民生活部長	打越正男君
福祉部長	岡野正三君
保健衛生部長	仲村洋君
産業経済部長	青木繁君
都市建設部長	小松崎登君
上下水道部長	早乙女正利君
教育次長	加藤法男君
消防次長	植木敏夫君
会計管理者	仲村新一郎君
笠間支所長	光又千尋君
岩間支所長	横田文夫君

出席議会事務局職員

事務局長	鈴木健二
事務局次長	高野幸洋
次長補佐	柴山昭
主査	高野一
主幹	川野輪良子
事務補	篠崎三枝子

議事日程第2号

平成21年3月5日(木曜日)

午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について

議案第6号 笠間市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例について

議案第7号 笠間市税条例の一部を改正する条例について

- 議案第8号 笠間市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第9号 笠間市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第10号 笠間市介護保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第11号 笠間市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例について
- 議案第12号 笠間市駅前広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第13号 笠間市特別会計条例の一部を改正する条例について
- 議案第14号 笠間市消防団員の任免、定員、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第15号 公の施設の広域利用に関する協議について
- 議案第16号 指定管理者の指定について（笠間クラインガルテン）
- 議案第17号 市道路線の廃止及び認定について
- 日程第3 議案第31号 平成21年度笠間市一般会計予算
- 議案第32号 平成21年度笠間市国民健康保険特別会計予算
- 議案第33号 平成21年度笠間市老人保健特別会計予算
- 議案第34号 平成21年度笠間市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第35号 平成21年度笠間市介護保険特別会計予算
- 議案第36号 平成21年度笠間市介護サービス事業特別会計予算
- 議案第37号 平成21年度笠間市公共下水道事業特別会計予算
- 議案第38号 平成21年度笠間市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第39号 平成21年度岩間駅東土地区画整理事業特別会計予算
- 議案第40号 平成21年度笠間市立病院事業会計予算
- 議案第41号 平成21年度笠間市笠間水道事業会計予算
- 議案第42号 平成21年度笠間市友部水道事業会計予算
- 議案第43号 平成21年度笠間市岩間水道事業会計予算
- 議案第44号 平成21年度笠間市工業用水道事業会計予算

1. 本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名について

日程第2 議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について

議案第6号 笠間市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例について

- 議案第7号 笠間市税条例の一部を改正する条例について
- 議案第8号 笠間市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第9号 笠間市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第10号 笠間市介護保険条例の一部を改正する条例について
- 議案第11号 笠間市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例について
- 議案第12号 笠間市駅前広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第13号 笠間市特別会計条例の一部を改正する条例について
- 議案第14号 笠間市消防団員の任免、定員、服務等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第15号 公の施設の広域利用に関する協議について
- 議案第16号 指定管理者の指定について（笠間クラインガルテン）
- 議案第17号 市道路線の廃止及び認定について
- 日程第3 議案第31号 平成21年度笠間市一般会計予算
- 議案第32号 平成21年度笠間市国民健康保険特別会計予算
- 議案第33号 平成21年度笠間市老人保健特別会計予算
- 議案第34号 平成21年度笠間市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案第35号 平成21年度笠間市介護保険特別会計予算
- 議案第36号 平成21年度笠間市介護サービス事業特別会計予算
- 議案第37号 平成21年度笠間市公共下水道事業特別会計予算
- 議案第38号 平成21年度笠間市農業集落排水事業特別会計予算
- 議案第39号 平成21年度岩間駅東土地区画整理事業特別会計予算
- 議案第40号 平成21年度笠間市立病院事業会計予算
- 議案第41号 平成21年度笠間市笠間水道事業会計予算
- 議案第42号 平成21年度笠間市友部水道事業会計予算
- 議案第43号 平成21年度笠間市岩間水道事業会計予算
- 議案第44号 平成21年度笠間市工業用水道事業会計予算

午前10時00分開議

開議の宣告

議長（市村博之君） 皆さんおはようございます。
ご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は25名であります。本日の欠席議員は、4番野口 圃君、8番西山猛君、9番村上典男君であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の会議に、地方自治法第121条の規定により出席を求めた者及び議会事務局職員の出席者は、お手元に配付いたしました資料のとおりです。

議事日程の報告

議長（市村博之君） 日程についてご報告申し上げます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付いたしました議事日程表のとおりといたします。

これより議事日程に入ります。

会議録署名議員の指名について

議長（市村博之君） 日程第1、会議録署名議員を指名いたします。

会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、26番常井好美君、27番海老澤勝男君を指名いたします。

議案第 5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例について

議案第 6号 笠間市行政改革推進委員会設置条例の一部を改正する条例について

議案第 7号 笠間市税条例の一部を改正する条例について

議案第 8号 笠間市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 9号 笠間市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

議案第10号 笠間市介護保険条例の一部を改正する条例について

議案第11号 笠間市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例について

議案第12号 笠間市駅前広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

議案第13号 笠間市特別会計条例の一部を改正する条例について

議案第14号 笠間市消防団員の任免、定員、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第15号 公の施設の広域利用に関する協議について

議案第16号 指定管理者の指定について（笠間クラインガルテン）

議案第17号 市道路線の廃止及び認定について

議長（市村博之君） 日程第2、議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例についてないし議案第17号 市道路線の廃止及び認定についての13件を一括議題といたします。

議案の説明は既に終了しております。

これより質疑に入りますが、通告がありませんので、質疑を終わります。

ただいま議題となっております議案第5号 笠間市公の施設の広域利用に関する協定の実施のための特例条例の一部を改正する条例についてないし議案第17号 市道路線の廃止及び認定については、会議規則第37条第1項の規定により、お手元に配付いたしました議案付託区分表のとおり所管の常任委員会へ付託いたします。

議案第31号 平成21年度笠間市一般会計予算

議案第32号 平成21年度笠間市国民健康保険特別会計予算

議案第33号 平成21年度笠間市老人保健特別会計予算

議案第34号 平成21年度笠間市後期高齢者医療特別会計予算

議案第35号 平成21年度笠間市介護保険特別会計予算

議案第36号 平成21年度笠間市介護サービス事業特別会計予算

議案第37号 平成21年度笠間市公共下水道事業特別会計予算

議案第38号 平成21年度笠間市農業集落排水事業特別会計予算

議案第39号 平成21年度岩間駅東土地区画整理事業特別会計予算

議案第40号 平成21年度笠間市立病院事業会計予算

議案第41号 平成21年度笠間市笠間水道事業会計予算

議案第42号 平成21年度笠間市友部水道事業会計予算

議案第43号 平成21年度笠間市岩間水道事業会計予算

議案第44号 平成21年度笠間市工業用水道事業会計予算

議長（市村博之君） 日程第3、議案第31号 平成21年度笠間市一般会計予算ないし議案第44号 平成21年度笠間市工業用水道事業会計予算の14件を一括議題といたします。

議案の説明は既に終了しております。

これより質疑に入ります。

質疑の通告順に発言を許可いたします。

初めに、7番鈴木貞夫君の発言を許可いたします。

7番鈴木貞夫君。

7番（鈴木貞夫君） 通告に従いまして、議案質疑を行いたいと思います。

議案第31号 平成21年度笠間市一般会計予算についての質疑を行いたいと思います。

まず、第1番目に、予算書26ページの歳入15款県支出金、2項県補助金、1目総務費県補助金に、ふるさと雇用再生特別基金事業補助金2,000万円と緊急雇用創出事業補助金1,500万円が歳入としてあります。この両者の、ふるさと雇用再生特別基金事業と緊急雇用創出事業はどのような違いがあるのか。区別されているのか。また、具体的な計画、雇用条件の内容等はどのようになっているのか。また、ハローワークとの関連はどうか。市は、平成20年度に雇用対策として臨時職を雇用しているが、この事業との関連はどうか、まず第1点お聞きしたい。

2番目に、予算書28ページの歳入15款県支出金、2項県補助金、4目農林水産事業費県補助金、2節林業費補助金の森林機能緊急回復整備事業補助金2,394万円があります。この事業はどのような計画のもとに進めているのか。また、今年度は具体的にどこの地域を行うのか。また、今まで実施された地域はどこなのか。

3番目に、本年度予算の重点施策として、農業対策が掲げられております。予算書95ページの遊休農地活用作業委託料79万5,000円は、どのような計画のもとに進められているのか。

さらに、予算書97ページの5款農林水産業費、1項、3目農業振興費、19節にある主要農産物生産振興支援事業補助金182万6,000円と、4目水田農業費の19節にある農産振興条件整備支援事業補助金608万4,000円の相違はどこにあるのか。これらの具体的な内容はどうか。

4番目に、予算書122ページ、7款土木費、4項都市計画費、8目駅前トイレ整備事業費1,121万4,000円が計上されている。この事業の内容はどのようになっているのか。また、この整備は地域の意向を把握してのものなのか。

5番目、予算書132ページ、9款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、19節にある育英基金奨学補助金288万円があるが、これまでの実績内容と本年度の計画はどのようになっているのか。また、この育英基金には返済義務があるのか。

以上、お尋ねします。

議長（市村博之君） 市長公室長塩田満夫君。

市長公室長（塩田満夫君） 7番鈴木（貞）議員のご質問にお答え申し上げます。

二つの事業の区別でございますけれども、まず、ふるさと雇用再生特別基金事業、2,000万円の方でございますが、継続的な雇用機会の創出を目的に、1年以上の雇用を行う委託事業を対象としてございます。それから、緊急雇用創出事業でございますが、1,500万円の方でございますけれども、次の雇用までの短期の就業機会を提供することを目的として、6カ月未満の雇用を対象としているところでございます。

具体的な計画でございますが、ふるさと雇用再生事業では、英語指導助手派遣事業の増

員、菊栽培技術を伝承する事業、市の主要特産物である果樹の生産性や品質を高めるための支援事業を計画し、緊急雇用創出事業、いわゆる6カ月未満の雇用の関係では、固定資産情報の整理や身体障害者台帳の整理、観光施設等整備事業などを計画しているところでございます。

雇用の対象者は、現在失業している以外に特別の制限はございませんけれども、非正規労働者や中高年齢者、障害者、その他就職が困難な方など、特に支援が必要となる失業者の状況を踏まえまして雇用機会を創出することとしてございます。賃金などの労働条件については、市場実勢等を踏まえまして適切な水準が設定されるところでございます。

ハローワークとの関連でございますけれども、失業された方はハローワークでの情報収集を第一に行うということが考えられますので、本事業につきましても登録を行いまして、広く失業者への周知を図ってまいりたいと考えております。

また、平成20年度にいち早く実施いたしました臨時職員の雇用につきましては、既存の予算で対応していたところでございますが、さかのぼって緊急雇用創出事業の対象とすることが国の方から示されてございます。これを活用してまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

議長（市村博之君） 産業経済部長青木 繁君。

産業経済部長（青木 繁君） 7番鈴木貞夫議員から2点ほど質問いただきました。

まず、1点目の森林機能緊急回復整備事業補助金につきましては、平成18年度に実施しました間伐促進全体計画調査、それによりまして緊急に間伐が必要とされた森林が、県全体で1万3,874ヘクタール、当市におきましては、そのうち424ヘクタールでございます。これらを森林湖沼環境税を活用した森林機能緊急回復整備事業により順次整備していく予定でございます。

平成21年度の実施予定地域につきましては、対象森林面積が多い笠間地区を中心に、笠間市全体で50ヘクタールの間伐等を実施していく計画であります。平成20年度につきましては、6月と12月の補正予算対応ということで、作業道の整備状況や団地的に広がり、さらには作業効率のよい岩間地区の上郷及び下郷地域で50ヘクタールの間伐を現在実施しております。

次に、遊休農地活用緊急対策事業は、農業者の減少や高齢化の進行等により増加する遊休農地の解消のための方策、解消費用、労力、期間及び解消後の利用等について調査を目的に行うモデル事業でございます。

ご質問の遊休農地活用作業委託料の79万5,000円につきましては、油糧作物を播種し、種子を収穫するまでの刈り取り、耕起、播種、すき込み、さらには解消後の耕起等の作業委託料でございます。

次に、主要農産物生産振興支援事業補助金と農産振興条件整備支援事業補助金の相違、

具体的な内容についてですが、主要農産物生産振興支援事業補助金は、茨城県の銘柄品目であります小菊、それから栗の生産振興を図り、産地としての生産体制強化を目的とする市単独の新規補助事業でございます。

事業内容としましては、花き産地強化支援事業としまして、JA茨城中央花き部会が取り組む新規栽培者の育成対策として、マイスターへの支援、啓発資料策定等に対して2分の1以内を助成するものです。新規栽培者を確保することで、取り扱い数量の拡大を図り、市場出荷額を向上させていきたいと考えております。

それから、栗については、品種、それから品質ともに現在ばらつきがありますので、取り扱い数量に対して市場評価が低いため、品種の統一を図ることを目的として、苗木導入に係る費用の一部を助成するものでございます。

一方の農産振興条件整備事業補助金は、転作作物であります麦・大豆、飼料作物等の本格生産のため、生産基盤となる水田の営農用機械、施設の整備に対する事業費補助で、茨城県単独補助でございます。補助率は3分の1となっております。友部地域集落営農組合及び友部営農受託組合が、それぞれ麦・大豆等の収穫用機械として汎用コンバインを導入する計画となっております。

以上でございます。

議長（市村博之君） 都市建設部長小松崎 登君。

都市建設部長（小松崎 登君） それでは、私へのご質問は、予算書122ページでございます。

都市計画費、8目の駅前トイレ整備事業につきまして、この事業の内容は何か、そしてさらには地元の意向はどうかというご質問をいただいております。

ご質問の駅前トイレ整備事業につきましては、今回、1,121万4,000円を計上いたしまして、福原駅のトイレの整備をするものでございまして、木造平屋建てで約15平米程度のものをつくる予定でございます。男女それぞれ2基ずつの便器を設置する予定となっているわけでございます。

この駅前トイレの整備事業につきましては、笠間市内には6カ所の駅がございまして、その駅の中にそれぞれ公衆トイレがあるわけでございますが、未整備であるのが、水戸線の福原、稲田、宍戸、この各駅の公衆用トイレが未整備ということで、それを新築するということでございます。

笠間駅、友部駅につきましては既に整備が完了しておりまして、岩間駅につきましても、駅周辺整備事業と合わせまして間もなく整備に着工するような予定となっているわけでございます。

そういった中で、福原、稲田、宍戸、この三つの駅につきまして、現在、老朽化が激しく、それからくみ取り式であるという状況でございまして、衛生面、それから安全面で大きな問題を抱えているという状況であります。改善を求める要望が多数寄せられていると

いうことから、平成20年度より年次的に駅のトイレの整備を進めていくと、そういうものでございます。よろしく願いいたします。

議長（市村博之君） 教育次長加藤法男君。

教育次長（加藤法男君） それでは、私の方は、育英基金奨学補助金についてのお尋ねでございます。

今までの実績内容ということでございますけれども、合併後の実績を申し上げたいと思います。

平成18年度が、申請者23名に対しまして18名の方が支給されております。高校生が16名、大学生が2名、月額6,000円ずつ支給しているということでございます。合計で129万6,000円でございます。

平成19年度が、申請者42名に対しまして33名に給付、高校生が31名、大学生が2名の方に231万6,000円を補助しております。

平成20年度が、申請者41名に対しまして32名、高校生が30名、大学生が2名の方に225万円を補助しております。

なお、奨学資金の支給に当たっては、例年5月に保護者から奨学生申請書の提出をいただきまして、奨学生選考審議委員会に諮り、奨学生を決定し、奨学資金を支給しているところでございます。支給月につきましては、年間4回に分けて、三月ごとに支給しているという状況です。

今年度につきましては、申請見込み者を40名ということに見積もりまして、今回、予算を計上させていただいたところでございます。

次に、返済義務はあるのかとのご質問でございますが、笠間市奨学資金支給条例第2条第2項により、給付された奨学金は返済を要しないとなっておりますので、返済義務はありません、ということでございます。

以上です。

議長（市村博之君） 7番鈴木貞夫君。

7番（鈴木貞夫君） 一応、答弁をもらったんですけども、なかなか速くて十分理解できない面もあるんですけども、私が1番目に言ったふるさと雇用再生特別基金とこの二つの問題で、1点目の1年以上という長期にわたって雇用が安定するようなところに対策を立てるということは、私はいいことだと思うんですね。

昨年12月に市がいち早く行った緊急雇用対策、時給750円で期間も短いということで、応募者は1人だというふうに聞いているわけですけども、茨城県全体で見ても、時給が安くて、雇用期間が短くて不安定だということから、全国的に見ても応募者がそれほどないというのが現実なんですね。ですから、この2番目の雇用対策の問題というのは、半年以内ということであるわけですけども、その人が就職を完全にできるまで保証するような期間というふうに考えていいのかどうかということですね。

それで、細かいことは申しませんが、時給の点でも、今は、時世を見てというか、今の時代に照らして、750円が妥当だったかどうかということも検討していただきたい。先ほどの回答だと、まだ幾らという、適正な水準ということだけで、とりあえずの額というのではないわけですが、1,500万円からあるこれだけの基金を使うとしたら、ある程度の生活ができる賃金を保証するというのも必要ではないだろうかと思われま

す。2番目の森林、この整備の問題ですけれども、先ほど茨城県全体、また笠間市全体のこととも報告されました。私は、森林組合に入っている私の近くの人にこの話をしたところ、ほとんどの人がこういう制度を知らないんですね。こういう制度を本当に有効あるものとするならば、そういう森林組合に入っている人、具体的に言えば、森林の整備に困っている人たちともう少し話し合いの場を持って、これを有効的に活用されるようにする方向があるのか。笠間市全体では相当山林があるわけですが、今、上郷や下郷の方ですか、50ヘクタール実施したというふうに言われておりますけれども、笠間市全体でこの森林を復活させるためには、どういう計画で、毎年するのかどうかという全体的な計画も必要じゃないかと、この予算を見て思うわけですが、その辺どうでしょうか。

議長（市村博之君） 鈴木（貞）議員、質疑においては、会議規則第55条第3項の規定により自己の意見を述べることはできませんので、忠告申し上げます。

7番（鈴木貞夫君） はい。意見というか、この予算を本当に有効にするには、単年度よりも、むしろそういうふうな長期的な見通しも含めてあった方がというふうにと考えたので申し上げました。申しわけありません。

それと、水田の問題もちょっとありますけれども、下の4番目の駅のトイレの問題ですね。この予算に関する参考資料書の25ページを見ますと、1,048万円で福原駅前トイレ整備事業としか載ってないので、福原の駅だけに1,000万円というのはどうかなと思ったから一つは聞いたわけですが、今の回答ですと稲田と、心配していたのは、稲田とか宍戸だとか、そういうところの駅はどうなっているんだろうかということも一つはあったんですよ。これを見ていると福原しかわからないので、ほかの駅はどうだろうかと、果たしてそこに1,000万円もかかるのかという疑問もちょっとあったわけですね。今の回答だと、この25ページに載っている1,048万円と、金額は多少違いますけれども、予算書を見ますと、整備その他の問題も入っていますから、それは問いませんが、稲田、宍戸もこの予算の中に入っているというふうに見ていいということですね。そこだけ聞きたいと思います。

議長（市村博之君） 市長公室長塩田満夫君。

市長公室長（塩田満夫君） 今回、ふるさと再生雇用と、それから緊急雇用で、二つの事業を組み立ててございます。

これの中身を申し上げますと、ふるさと雇用は1年以上の雇用ということになります。それから、緊急雇用については、先ほど申し上げましたように6カ月未満ということにな

りますけれども、業務内容によりまして1回に限り更新が認められるということで、1年間は雇用できるというような制度になってございます。

以上でございます。

議長（市村博之君） 産業経済部長青木 繁君。

産業経済部長（青木 繁君） 再度の質問の中で、森林緊急活用ですか、この点でございますが、ご承知のとおり、昨年度、森林湖沼環境税が茨城県の中で新設されて、山関係、湖沼関係の大きな動きが出てきております。

こういう中で、山林所有者につきましては、大規模な方々はほとんど森林組合に加入している状況でございます。小さな林家については、入っていない方も多数あるわけですが、そういう中で森林組合を主体にいろいろ相談をしながら進めてきております。

そういう中で、18年度に実施しました調査、これは民有林を対象にして、笠間市全体の中で森林組合等も入って一緒に調査をした中でございますが、そういう中では、本当に小さな林家と申しますか、そういう部分は知らない人も若干はいるのかなと思っておりますが、いずれにしても、そういう山全体の保全活用をどうするかという視点で進めてきております。

そういう中から、長期的にどうするのかということで、この制度そのものは、森林湖沼環境税は時限立法で一応5年という形になっておりますが、50ヘクタールずつやっても、424ヘクタールやるのには9年近くかかってしまうということでございますので、県の方としては、一応時限立法5年ということですが、10年をもくろんでの計画を立てているということでございます。

以上でございます。

議長（市村博之君） 都市建設部長小松崎 登君。

都市建設部長（小松崎 登君） ただいま2回目のご質問で、1,100万円によって三つの駅のトイレを整備するのかという確認のご発言かと思えます。

先ほど申しましたように、この事業につきましては20年度からやっております。平成20年度、まだでき上がってはおりませんが、20年度で稲田駅をやるということで、現在、建築確認等をやっております。繰越事業により整備をしていくという状況でございます。21年度に福原駅をやりまして、23年度については宍戸駅をやっていきたいと考えているわけでございます。

なお、参考までに申し上げますと、JRの駅の駅前トイレという名を打ってやりますのは、私どもも知恵を絞りまして、通常、公衆用トイレということになりますと、かなりの大きな人数の合併浄化槽となってしまうわけですが、JRの駅前トイレということでございまして、ある程度特定の間人が利用するというので、合併浄化槽の大きさもかなり小さく狭められると。経費の節減を図りながら利便性を図るという、そういった知恵を絞った中での駅前トイレということでございますので、ご理解いただきたいと考えて

おります。

以上でございます。

議長（市村博之君） 教育次長加藤法男君。

教育次長（加藤法男君） 先ほどの答弁の中でご承知しておいてほしいということは、平成21年3月末現在見込みで、基金残高が426万7,000円しか残っておりません。そういうことから、本制度につきましては、原資残高がなくなった段階で廃止するというような考えでありますので、ご承知を願いたいと思います。

以上です。

議長（市村博之君） 鈴木貞夫君の質疑を終わります。

次に、6番鈴木裕士君の発言を許可します。

6番（鈴木裕士君） 通告いたしました質問の中で、一番最初の質問は、鈴木貞夫議員とダブリますので割愛させていただきます。

まず、最初に97ページなんですけれども、5款の農林水産業費、1項農業費、4目水田農業費、19節負担金補助、農産振興条件整備支援事業補助金ということで608万4,000円ついております。これについての資金の使途、それから対象とする事業はどういったものなのかということ。それから、対象地域が決まっているとすれば場所はどこなのか。それから、今後も継続する予定の事業であるのかどうか、これが一つ目です。

それから、二つ目といたしまして、98ページ、5款農林水産業費、1項農業費、6目農地費、13節委託料、農業農林活性化計画策定委託料336万8,000円あります。目的とする事業と申しますか、目的とするお金の使い道、これはどういったものなのか。それから、計画策定の委託と書いてありますが、委託先とはどこなのか。それから、19年、20年と同じこの科目で計上しておりますが、これまでの成果としてどのようなことがあったのか、これが二つ目の質問であります。

それから、三つ目、103ページ、同じく5款農林水産業費、2項林業費、2目林業費、15節工事請負費、林道舗装工事費2,800万円でありますけれども、場所はどこなのか。それから、総工費と、これからの資金投入予定額及び工事完了予定時期はいつなのか。

四つ目としまして、149ページ、9款教育費、5目研修所費、15節工事請負費、研修所改修工事費として1,700万円あります。これについて改修部分はどいったものなのか。瓦とか、側壁とか、床とか、あるいはトイレ、炊事場、おふる場、こういった区分と申しますか、どの辺までやるのか。これについての回答をお願いします。

以上です。

議長（市村博之君） 産業経済部長青木 繁君。

産業経済部長（青木 繁君） 6番鈴木裕士議員のご質問にお答えいたします。

まず、1点目の農業条件整備事業補助金につきましては、先ほど鈴木貞夫議員よりご質問のあったもの同一でありますので、事業内容については省略をさせていただき、今後の

継続の予定につきましてはのみ、ご説明申し上げます。

今後につきましても、当該補助事業を活用しながら、継続性のある転作作物、作付を推進し、安定した地域農業の確立を図ってまいりたいと考えております。

次に、農業農村活性化計画策定委託料についてでございますが、この事業につきましては、土地改良基盤整備後30年を経過しております友部土地改良区の主にパイプライン化を推進しているために、事前に当該地区の今後の農業経営の拡大等の施策を推進していくに当たりまして、有効的かつ安定的な農業経営、望ましい農業構造の姿を確立するため、意欲と能力のある形態、担い手ができる環境整備を整えるための事前の計画策定でございます。委託先につきましては、茨城県農林振興公社を予定しております。

それから、これまでの成果でございますが、平成20年度は計画地区の一部であります小原地区を実施しましたが、意向調査の結果、基盤整備事業要件を満たすための受益者の意向が明確になりました。これをもとに、地区推進員が中心となって、事業要件を満たすための推進活動を現在行っているところでございます。

最後に、林道舗装工事の件でございます。本路線は、笠間市本戸地内にあります林道本戸前山線でございます。この林道は、開設工事を平成10年度から平成19年度まで施工しまして、平成20年度から、道整備交付金、これは国、県から2分の1補助が出ます。これらを活用しまして、2カ年計画で、総延長2,490メートル、幅員で4メートルの舗装工事を進めているものでございます。

工事費につきましては、平成20年度で2,800万円、そして本年度2,800万円を予定しております。21年度で完了となるような運びとなっております。

以上でございます。

議長（市村博之君） 教育次長加藤法男君。

教育次長（加藤法男君） 研修所の改修工事の件でございますが、築46年ということで大分老朽化しております。そのようなことから、土台、内装、建具、電気系統、浴室等、屋根等を改修するものでございます。

議長（市村博之君） 6番鈴木裕士君。

6番（鈴木裕士君） 先ほどの4番目の質問で、林道舗装工事費が2,800万円ですけれども、先ほどの回答の中で、総延長2,490メートル、幅4メートルで全線舗装するというように聞こえたんですけれども、その辺間違いないかどうか。それと、全線舗装すれば、これによつての経済効果をどのように見込んでいるか、これが一つ目。

それから、4番目の研修所の改修工事、この中でトイレまで含むのかどうか。ここについても回答をお願いします。

議長（市村博之君） 産業経済部長青木 繁君。

産業経済部長（青木 繁君） 林道舗装全体で、先ほど申し上げましたとおり全面舗装、全延長舗装でございます。

経済効果がどうなのかということでございます。このところは、林道の受益面積が結構ございまして、54ヘクタールございます。市道からぐるっと山を通りまして、また市道に戻るような形の中で進めておりまして、山そのものの投資効果というのは、非常に判断が難しいところでございます。そういう中では、森林の間伐、枝打ち、いろいろありますけれども、そのほか自然生態系を守っていくための問題もありますし、いろいろ山にまつわる経済効果というのは、非常に奥深く幅広いものがあるというようなことでご理解をいただきたいと思えます。

議長（市村博之君） 教育次長加藤法男君。

教育次長（加藤法男君） 衛生工事という項目で、トレイ部分についても改修する予定でございます。

議長（市村博之君） 鈴木裕士君の質疑を終わります。

以上で、質疑を終わります。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております議案第31号 平成21年度笠間市一般会計予算ないし議案第44号 平成21年度笠間市工業用水道事業会計予算は、委員会条例第6条第1項及び第2項の規定により、8名の委員で組織する予算特別委員会を設置し、これに付託し、審査をしたいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（市村博之君） ご異議なしと認め、そのように決しました。

さらにお諮りいたします。

ただいま設置された予算特別委員会委員の選任は、委員会条例第8条第1項の規定により、蛭澤幸一君、上野 登君、横倉きん君、竹江 浩君、大関久義君、萩原瑞子君、小磯節子君及び藤枝 浩君の8名を指名したいと思います。ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（市村博之君） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました8名の諸君を予算特別委員会委員に選任することに決定いたしました。

散会の宣告

議長（市村博之君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。

なお、次の本会議は3月16日に開きますので、ご参集ください。

この後予算特別委員会を開いていただきますので、第1委員会室にお集まりください。大変ご苦労さまでした。

午前10時41分散会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する

笠間市議会議長 市 村 博 之

署名議員 常 井 好 美

署名議員 海老澤 勝 男